

Generative Story # Special Edition Chapter1

lead author : BLUE panda (@BLUEpanda_japan)

co author : etebo (@etebo3)

manager : youdu 白/おにぎり (@stepn0219)

imagine : ALL PUNKS & ALL GUILD

□ Prologue (written by BLUE panda)

今の日常を「平穏な日々」と呼べる者はいるのだろうか。

毎日代わり映えのしない時間を過ごしているという点においては「平穏」と言えるのかもしれないが、決して満たされることのない毎日を過ごし、何かに怯えて暮らす。これは決して、平穏な日々とは言えないだろう。

そんな、平穏ではない日々を更に不穏にさせるメッセージが、DENNNOW から全 Guild へ届いた。



それから 3 日後、臨時国会で刑法の改正が行われ、【政府特別協同企業に対する威力業務妨害及び電子計算機損壊等業務妨害罪】が即日施行された。

要は、政府特別協同企業に制定されている BrainVerse の営業を妨害する事や、ハッキングが

等でコンピュータにダメージを与える事を特別な法律で禁止し罰則を与える、というものである。

刑罰は【無期若しくは5年以上の懲役】。

死刑が廃止されたこの国においてこの刑罰は殺人罪と同等の重さである。

あまりに急な施行と、その刑罰の重さに PUNKS は騒然とした。

同時に、BrainVerse の魔の手が目前まで迫っている事を嫌と言う程思い知らされた。

また刑法の改正後すぐ、DENNOW から追加情報が各 GUILD に届いた。

«今回ノ件デ、BrainVerse ガ街ノ監視カメラ ニ アクセス デキルヨウニナッタ。監視カメラ ノ 記録ヲ照会スルコトデ Anti-BrainVerse PUNKS ヲ検出スルヨウダ。コレハ BrainVerse ノ“危機管理室”デ業務ニアタル指名手配プログラム、通称『Wanted Teller』ガ関ワッテイルトミラレル。今回 DENNOW ハ、ソノ Wanted Teller ニ作用スル ハッキングプログラム ヲ開発シタ。各 GUILD、BrainVerse ニ侵入シ、コノ ハッキングプログラム ヲ Wanted Teller ニ仕込ンデホシイ。コレハ我々PUNKS ニトツテ、命ヲ守ル為ノ最重要課題デアルト考エル。コレニツイテ至急、ギルドマスター緊急評議会ヲ開カレルヨウ»

このメッセージを受け取った各 GUILD には緊張の糸が貼り詰めた。

監視カメラは「街の安全保持の為」という建前で、いたるところに設置されている。ブレインバースがその監視カメラにアクセスできるという事は、PUNKS の活動が全てブレインバースに見透かされるのと同義である。

これはすなわち、BrainVerse の勝利と、PUNKS の敗北を意味した。

これを受け直ぐに、NTP が全 Guild に招集をかけた。評議会はいつもオーディオバースで行われる。音声のみの空間であるその不便さから、利用者はこの時代において極端に少ない（しかし、視覚障害者にとっては必須のコミュニケーションツールとなっており、これが廃止される事はない）。しかしだからこそ、BrainVerse に傍受される危険性は限りなく少ない。

NTP の招集に対して SKULL からのみ返答がなかったが、これはいつもの事であった。彼らは群れる事を嫌う。そのあまりに協調性のない姿勢に嫌悪感を抱く者も少なくないが、反面、彼らの戦闘能力は圧倒的であり尊敬の対象とみられることも多い。

他のギルドは『GET IT BACK, OUR TOKYO!』の言葉を共有し、この危機をどうにか迎え撃とうと決起した。